

第 36 号

東北電子工業高等学校
 東北工業大学電子工業高等学校
 東北工業大学高等学校
 仙台城南高等学校
同窓会事務局
 仙台市太白区八木山松波町5-1
 電 話 022(305)2111
 F A X 022(305)2114
 振替口座 02200-6-5819
 発行責任者 今野克徳

さい すい

彩翠会報

会長挨拶



彩翠会長 今野克徳

会員の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

また日頃より、会の事業運営にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、母校の大事な行事の一つとして、卒業式がありますが、平成二十四年度の卒業式が東北工業大学高等学校の最後の卒業式となり、普通科・電子科を合わせて三二三名が晴れて、卒業し同窓会新メンバーとなりました。おめでとうございます。

この時期が来ると、あの大地震災を思い出しますが、早いもので、二年が過ぎ今だに復興が進まない中、昨年のロンドンオリンピックで過去最高のメダル獲得と明るいニュースも、記憶に新しいことと思います。

特に被災地出身選手の活躍に、夢と希望を頂き、その中でも、同窓生である、淡路卓君が、フ

エンディング団体フルレで、銀メダルを獲得したことは、母校・同窓会に取っても名誉のことでありました。次回開催地である、リオデジャネイロでは、金メダルを獲得することを力強く、決意表明を頂きましたので、同窓生からの熱い応援をよろしくお願いたします。そして、卓君に続く母校後輩達にも、応援して下さい。

最後に、校名変更による同窓生や一般の方々の声が色々と聞かれますが、安倍首相の所信表明の中で、「我国が直面する最大の危機は、日本人が自信を失って：自らの力で成長して：」そして最後にこのように締めくくっております。「強い日本を創るのは、他の誰でもない、私たち自身である」と、この言葉のとおり、母校を強くするのも、我々同窓生であることを自覚し、本年度より学校法人東北工業大

学仙台城南高等学校が、スタートしますので、今まで以上にご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

お詫び・訂正

昨年の会報及び総会の中で、本年度（平成二十五年）が、同窓会五十周年と掲載しお話しをさせて頂きましたが、平成二十六年の誤りでしたので、訂正をさせて頂きます。大変申し訳ございません深くお詫び申し上げます。今後このようなことがないように皆様からの貴重なご意見を聞かせて頂くためにも、五月二十五日（土）午後六時総会・午後七時懇親会をアークホテルにて、開催することとなりましたので、お忙しい中、恐縮ではございますが、御出席していただければ幸いです。

ホームページにて同窓会の紹介をしております。ぜひアクセスして下さい。
 「ホームページ」<http://www.sendai-johnan.jp/>

御注意!!

同窓会や学校事務室の名前を使用し、同窓生宅や実家に電話をかけ、勤務先の電話番号等を聞き出そうとする業者が存在しているようですが、同窓会でも学校でもそのようなことは一切行っておりませんので十分御注意下さい。

感謝

3.11東日本大震災復興義援金

多くの同窓生から、心温まるお言葉
 多大な義援金を賜わりありがとうございました。

(納入者、御芳名は6頁に記載致しました。)

50回生を送り出し 母校は新たな旅立ちへ



学校長 久力 誠

学校長挨拶

彩翠会の皆様におかれましては、お変わりなく各分野において活躍のことと拝察いたします。また母校に対しましては日頃より温かなご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。去る三月一日、第五〇回生三二三名を涙と感動の中で送り出しました。東北工業大学高等学校最後の卒業生です。皆様の母校は東北電子工業高等学校開校以来五〇年の歴史を経て、また新たな門出を迎えることになりました。四月八日には三五六名の新しい仙台城南高校生が入学してくるようになります。

一月下旬、県内私学の歴史上初となる二日の日程でのフリー入試が行われました。受験生が毎年漸減している本校は、この二十五年度入試を学校存続の正念場ととらえ、周到な戦略と実践を積み重ねて臨みました。まさにサバイバルとなった私立入試は、何と二〇〇名レベルの大

きな増減で、明暗を分けました。幸いにも本校は昨年の受験者数を四〇四人上回り、増加数で第一位の実績を残すことができました。これも彩翠会の皆様方の社会でのご活躍とご支持の賜物と感謝申し上げます。

今年一年は、仙台城南高校開校を見すえながら、現在学んでいる工大高生が最も大切であること、仙台城南高校に導入する新しい教育は可能な限り先取り実践すること、の二点を基本に取り組んできました。新しい学びに欠かせないツールがiPadですが、すでに授業に取り入れており、その成果の一部を外部に公開しました。オープンスクールでみせたiPadを使った生徒のプレゼンも大好評でした。もう一つのポイント国際交流は、英語圏と中国語圏で実施しました。英語・中国語・日本語のトライリンガルの育成が狙いです。昨年十一月末には

二年生五十三名が台湾を訪問し、今年九月には本校初となる台湾の大学への留学生も誕生します。また、三月末には一・二年生四十八名がキズナ強化プロジェクトのメンバーとして、約二週間アメリカに行っており、その前にアメリカから二十八名の高校生が三日間来校し交流を深めました。ここでも生徒たちはiPadを駆使して活躍してくれました。

進路面では就職内定一〇〇%を県内トップに決め、進学では本校初ですが、秋田大学医学部医学科に一名、東北大学工学部に二名の現役合格者を出すという快挙を成し遂げました。

部活動では、最後の工大高校生としての自覚を持って戦い、伝統を維持している空手道部を筆頭に、このところ成長著しいサッカー部が、ついに三位入りを果たすなど、沢山の活躍を見せてくれました。また、本校フェンシング部OBの淡路卓(すくも)君が、ロンドンオリンピックで見事日本初となる団体銀メダルを獲得したことは、夢のようなサプライズでした。凱旋報告会では生徒全員が銀メダルに触れ、次のリオデジャネイロでの金メダル獲得を誓い合いました。母校はこれまで同様、あらゆる方々の力と善意を結集して、一世紀に向かって力強く歩んで

参りますので、新装なった学校へ是非足をお運びください。校名や外観がどんなに変わっても、電子高の神髄である、校章と校歌と校訓は五〇年前と変わることなく堅持されており、キャンパスのここかしこに、電子魂が

息づいていることを実感して頂けると思います。最後になりましたが、彩翠会の益々の盛会を祈念いたしますとともに、これまで以上のご支援を心よりお願い申し上げます。

総合案内と事務局便り

第五十回定期総会・懇親会の御案内

事務局長 川畑 仁

総会日程が左記のように決まりましたのでお知らせいたします。

日時 五月二十五日(土)

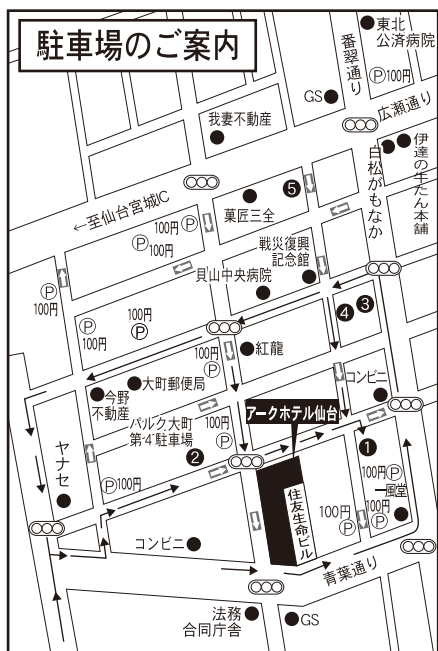
一、総会 午後六時
二、懇親会 午後七時

場所 アークホテル仙台

(仙台市青葉区大町二二一)
(電話〇三一一三三一一二二)

会費 社会人 三,〇〇〇円
学生 一,〇〇〇円

総会には校長先生はじめ多数の恩師の先生方に御出席戴いております。多くの方に声を掛けて、多数の参加を呼びかけて戴くようお願いいたします。



駐車場のご案内

特別寄稿



副校長 安久津 徹

本校創立から現在までの52年間の歩みを振り返ってみますと、

昭和36年…「東北電子工業高等学校」開校。
(電子工学科・無線通信科)

昭和37年…本校舎「1・2号館」が完成

昭和38年…「体育館」・「グラウンド」が完成

昭和39年…「電子工学科」を「電子科」に変更。
「3号館」・「柔剣道場」・「保健室」が完成。

昭和40年…校名を「東北工業大学電子工業高等学校」と改称。
「普通科」を設置。「無線通信科」を廃止。

昭和41年…「図書館」・「視聴覚室」・「食堂」が完成。

昭和45年…「温水プール」が完成。

昭和48年…「第2体育館」が完成。

昭和51年…「レスリング道場」が完成。

昭和53年…「電気工事事業養成課程」が通産省より認可。
学生服に戻る。

昭和60年…「本館」・「武道館」が完成。

昭和63年…「天体ドーム」が完成。

平成4年…制服を「ブレザー・オノヅカ」ブランドに変更。

平成6年…校名を「東北工業大学高等学校」と改称。

平成8年…「立体駐輪・駐車場」が完成。

平成9年…「新2号館」が完成。

平成10年…同窓会の名称を「彩翠会」と制定。

平成11年…「普通科」に女子生徒が入学。

平成13年…新体育館「アリーナ2」が完成。

平成16年…「電子科」に女子生徒が入学。

平成18年…「新1号館」・「中庭」が完成。

平成24年…雨天対応多目的運動場「サンコートJOHANAN」・
「校門などのエントランス」の整備が完成。シンボルツリー「桂」
校名を「仙台城南高等学校」と改称。

平成25年…「特進科」・「探究科」(普通科)・「科学技術科」(工業科)を新設。
制服を「BEAMS」ブランドに変更。

校名・学科や施設・制服を中心
にその変遷を記しました。

「いかがですか。先輩諸氏には、
在学した年代でいろいろなお思い出が詰まっていることでしょう。」
これからの半世紀を見据えて

「文責安久津 徹」

ロンドンオリンピック
フェンシング団体日本代表



あわじ 卓 (H19年度卒業生)

銀メダル獲得!! 日本男子フル
ーレ団体悲願の獲得でした。皆
様の激励があつてこそこのメダル
獲得です。改めて御礼申し上げます。
ありがとうございます。

あの時、あの舞台上に立った時に、
確かに日本の応援が耳に聞こえ、
そして胸に一番強く響き、僕を
支えてくれました。一人ではた
どり着けなかつた場所です。そ
して今も夢見てる場所です。今
度はリオデジャネイロです! 僕
がリーダーとなつて日本代表を
引っ張ります。地球の反対側で
すが、今度は是非現地まで応援
のほどよろしくお願いします。
僕の夢は金メダルを獲ることです。



関東支部総会

平成二十四年九月七日(土)
メルパルク東京に関東支部長
山田清氏以下約三〇名の関東地
区在住の同窓生が集まりました。





頭 門馬 昌文

懐かしき校舎

昭和五十二年四月に採用され、一年普通科副担任として“東北工業大学電子工業高等学校”での教員生活のスタートでした。正担任の先生が入院しており、最初の仕事は「入学式の新入生呼名」で、周囲の先生の協力で何とか入学式当日を乗り切ったことが昨日のよ

うに思えます。校舎が迷路のようになっていて、最初の頃はよく教室を間違えたものでした。当時は木造モルタル二階建ての校舎で風が吹けば教室の窓ガラスがガタガタ音を立て、五十一年のクラスに冬には更にストーブが設置された中での授業。また、入学者数が増えて、中庭のプレハブ校舎での授業。エアコンなどはなく夏の授業はタオルが手放せなかったことなどを行ったことなど今では懐かし

く思い出されます。老朽化した校舎の建て替えて運動施設（第一・第二体育館・プール）も含め、当時の面影残している校舎等は何も残っていないが体育祭のソーラン節・職員の仮装・クラス応援合戦、広瀬川堤防沿いでのマラソン大会、バスで東北各地を巡ったクラス毎の二泊三日のHR合宿などが懐かしく思い出されます。これまで一緒に仕事をしてきた多くの先生・生徒の皆さんに“パワー”をもらい、勤めることができました。同窓会の皆さん長い間お世話になりました。本当に有り難うございました。



数学科 大場 文和

教師生活をふり返って

津軽屋の奥の方に校舎が見えた。小学校六年生の頃に電子工高ができた。今の青山辺りまで遊びに来ていたので、よく覚えている。近

所でも噂が立った。それから十数年後、電子工高の教壇に立っていた。素晴らしい先生方がおられた。鈴木仁寿、佐藤忠雄の両先生には、生徒部の一員として、生徒指導の極意を教わった。図書委員会の顧問として、村上秀之先生と夏の合宿に参加したことも懐かしい。その頃の電子工高祭は、木曜日位から盛り上がり不夜城であった。理科室には卒業生が訪れ、当時、

生徒会の顧問をされていた尾形和洋先生らと遅くまで話していたと記憶している。社会科の小野寺良一先生には、公私共にお世話になった。よく岩沼の豚ちゃん屋でお酒を酌み交わしたものだ。小野寺、鈴木両先生にもう会えないと思うと寂しい。いい先生方に囲まれての教師生活。素晴らしいものでした。有り難う御座いました。

お世話になりました



工業科 泉谷 岳伸

充実した六年

大先輩の先生が卒業式のと語っておりました。「生徒たちが卒業式の当日（先生ありがとうございました。

先生のおかげで卒業できました。これからは先生のことを忘れず頑張ります。」この一言で三年間の苦勞が吹き飛び満足感が胸がいっぱいになるのですよ。先生になって本当に良かった。」私は三十年以上建設現場で働いた感動は苦勞の未だ成し、照明が一斉に点灯したときです。これが現場で働く力になってきました。今は生徒の成長から得られる感動です。教えたこと

を理解し、社会で役立つ技術技能をしっかりと身に付けてくれるのです。建物完成の何倍もうれしく満たされた気分になります。卒業して、時々遊びに来て生きいきと近況を語ってくれる時は涙が出そうです。良い生徒に恵まれ、そして諸先輩に助けられた六年間でした。卒業生諸君のご活躍を心よりお祈りいたします。



工業科 佐々木 俊一

レスリングを通して

四年前、電子科の教諭として着任し、経験したことのないレスリング部の顧問になり、何一つ分からないまま道場に足を踏み入れ

た時、最初に「すごい」の一言に尽きる印象を受けました。挨拶を始め、真剣な練習態度、マット一面の汗の量にも驚かされました。部員達は、練習、合宿、遠征を通して技や筋力をつけ、たくましくなっていくと同時に、精神も大きく成長していくのが、共に行動して感じて感ぜられ、嬉しく頼もしく思いました。それでも練習を重ねていくと必ず苦しくなり、辛く思う時があっても、皆頑張り、こ

こから一歩ずつ階段を登るようになり、東北工大のレスリング部があることを知らされました。二年間と短い副顧問でしたが、川畑先生指導のもと、石垣島や奈良県でのインターハイ、全国大会、東北大会等に出場し、入賞を成し遂げ、大いに活躍した場面に引率でき、すばらしい感動をもらいました。ありがとうございました。



社会科 熱海 政裕

出会いは山形でした

教員となつて間もない昭和五十年代初期、緑があつて当時の山形県東田川郡櫛引町黒川地区を訪れること

がありました。約五百年間受け継がれてきた「黒川能」の地に、その後度々何う中で、「農民の生活と芸術」の著者で農民詩人、真壁仁氏の作品を目にする機会が増えました。一昨年四月、本校にお世話になるという事で、学校要覧など資料を頂きまして、校歌の作詞者、真壁仁氏の名前に再会することになりました。あれから二年、主に地歴科地理で、一年、

三年対象の科目を担当させて頂きました。震災直後の四月、世の中はまだ混乱のさ中でありましたが、本校は日常の学校生活を取り戻すべく努力をしていた時期です。教育難民をつくらないうとのスローガンの下、受け皿整備が着々と進むプロセスを見ることができました。そのような事で、私自身が学ぶことの多い二年間でした。諸々お世話になり有り難うございました。

平成25年度大学合格状況 (現役)

3月15日現在

Table with 5 columns: University Name, Department, Number of合格者, University Name, Number of合格者. Includes entries for various universities like 秋田大学, 東北大学, 宮城大学, etc., and a total count of 238.

平成24年度就職内定状況

《平成24年度第3学年就職内定先 登録番号順》

(100%の内定率)

Table with 3 columns: Company Name, Address, and Job Title. Lists companies like 株式会社アミノ, 株式会社 ケーヒン, 東北電力株式会社, etc.

Recruitment advertisement for 同窓生 (Alumni). Features vertical text for '頑張っています' and '同窓生' with names and contact info for 株式会社 インタージエム, 大場 律夫, 株式会社 森勇建設, 高平 孝雄, 株式会社 泉タクシー, 本田 十三男, and 株式会社 インタージエム, 佐藤 正郁, 佐藤 剛雄.

有限会社 クラフト

代表取締役

河野 照一

(八期生)

仙台市青葉区宮町一丁目一五〇二
東急下エルアルス宮町二丁目二〇二
TEL 〇二二一七六一七四二二
FAX 〇二二一七六一七四二二

宮城県議会議員

岸田 清実

(十期生)

仙台市太白区長町一六一一
TEL 〇二二二四八八八八八
FAX 〇二二二四八八八六三三

鈴木洋一土地家屋調査士事務所

土地家屋調査士

鈴木 洋一

(十一期生)

仙台市青葉区二日町十六一〇
TEL 〇二二二四一五八八
FAX 〇二二二五一一八六

株式会社北州

代表取締役

石塚 博文

(十四期生)

仙台市青葉区立町三一
TEL 〇二二二六一一〇四〇
FAX 〇二二二六一一〇六〇

コバルト美容室

吉田 直

(十五期生)

仙台市青葉区旭ヶ丘三一四一
TEL 〇二二二七一一六六〇三

株式会社廣濟堂

所長

石井 幹雄

(十五期生)

仙台市若林区舟丁十八一
TEL 〇二二二七五一一三二一
FAX 〇二二二七五一一三二七三

学校法人角川学園専門学校花壇自動車大学校

教頭

猪股 宣明

(十五期生)

仙台市青葉区花壇八一
TEL 〇二二二二二一三八三八
FAX 〇二二二二六六一七九〇四

(有)アシスト物流

代表取締役

安田 茂

(十九期生)

岩沼市空港南二一三一
TEL 〇二二三二二五五七三五
FAX 〇二二三二二五五七三六

ホテルレオパレス仙台

総支配人

青山 佳夫

(二十一期生)

仙台市宮城野区榴岡四一六一八
TEL 〇二二二七〇六〇〇〇一
FAX 〇二二二七〇六〇〇〇二

京王観光株式会社仙台支店

支店長

木田 勝政

(二十五期生)

仙台市青葉区本町一一二二〇
KDX仙台ビル三F
TEL 〇二二二二七三三二八一
FAX 〇二二二二六五一一六八五

R45・日の出自動車学校

副管理者

奥山 祐輔

(二十六期生)

仙台市宮城野区日の出町二一一一三
TEL 〇二二二八三一九七七
FAX 〇二二二八三一九七七

(有)佐々木電気工事

代表取締役

佐々木 仁也

(二十八期生)

仙台市若林区荒井字在家二七六B上七
TEL 〇二二二八八七七二二
FAX 〇二二二八八七七二二

株式会社 太陽事務機

代表取締役

若松 伸大

(二十九期生)

仙台市宮城野区高砂一十一
TEL 〇二二二五四一四六一六
FAX 〇二二二五四一四六一九

株式会社登米プラス

営業部長

武山 祐樹

(三十七期生)

名取市上余田字千刈田五四三一
TEL 〇二二一三八三三五八八
FAX 〇二二一三八三三五七〇一

3.11東日本大震災校舎復興義援金納入者御芳名

卒業	氏名	義援金
3期生	藤本 俊明	10,000
5期生	村田 忠	2,000

ご協力大変ありがとうございました。

仙台城南高等学校 同窓生 教職員会 同窓会事務局

浅野 初朗 (四期生) 国語科	川畑 仁 (二十八期生) 体育科
笠原 清 (十期生) 数学科	浦田 哲也 (二十九期生) 電子科
狩野 仁宏 (二十期生) 電子科	奥田 昌史 (三十二期生) 電子科
永野 英明 (二十六期生) 電子科	藤井 貴也 (三十三期生) 電子科
森 裕 (二十六期生) 体育科	佐藤 隆司 (三十六期生) 社会科
高橋 功充 (二十八期生) 社会科	千葉 康志 (三十六期生) 電子科
	佐藤 幸弘 (三十六期生) 事務職
	鈴木 聡 (三十七期生) 電子科

同窓会費納入者御芳名

平成25年3月31日現在(敬称略)

卒業	氏名	卒業	氏名	卒業	氏名	卒業	氏名	卒業	氏名
電波生	針生 和男		内海 克夫	13期生	阿部 大介		浦田 哲也		塚野 祥章
1期生	渡辺 尚親		大場 敏郎	14期生	大木 一史	30期生	渡邊 大作	44期生	江刺 一輝
	石田 勝		大村 英美	15期生	石塚 博文		海藤 英俊		小松 洋平
	加藤 義夫		加藤 佑也		石井 幹雄	31期生	鈴木 慶太		今野 亜希
	菊地 常信		木村 拓		斎藤 浩		小野 智代	45期生	丹野 清太
	桑原 紘和		川畑 啓二		庄司 伸一		佐藤 正剛		淡路 卓
	桑折 孝雄		斉藤 義徳		中村 正俊	32期生	里見 拓真		遠藤 大輔
	佐々木勝夫		福島 洋	16期生	吉田 直		奥田 昌史		及川 聡士
	庄司 武		星 光太郎		青田 修		木村 尚		川崎 祐太
	神 正照	7期生	宮下 雅光		片桐 仁		小島 岳史		臈本 翼
	増沢 勝彦		池内 寛		川島 孝宏	33期生	佐藤 健		齋藤 暁
	渡辺 義夫		上野 俊輔		小金沢広二		井上 元宏		佐藤 征哉
2期生	相沢 雅		小野 和男		佐藤 昭典	34期生	藤井 貴也		林 隼矢
	荒川 捷英		斎藤 美則		佐藤 実		木村 真		播間 友寛
	石田 憲治		永野 誠		高橋 賢明	35期生	我妻 澄直		村井 覚
	権藤 俊一	8期生	野村 憲芳		竹中 浩文		田村 信悟	46期生	菅野 智季
	佐々木宣生		太田 均		田山 孝和	36期生	佐藤 清文		菊地 晃司
	佐藤 弘一		大野澤淳一		畑谷 和孝		井上 卓也		鈴木 元
	鈴木 伸一		斎藤 博也	18期生	松岡 國好		千葉 康志		三矢 宗幸
	高平 孝雄		佐々木正純		伊藤 俊	37期生	佐藤 幸弘		渡邊 綱久
	長尾 文喜		庄子 務		小林 宏		佐藤 隆司	47期生	菊地 拓哉
	福来 正三		堀田 昇一	19期生	佐野 浩		鈴木 聡		郡山 強
3期生	山澤総一郎		前川 政明		赤崎 克俊		鈴木 貴浩		本田 悠真
	遠藤 浩		三戸部和幸		今野 克徳		鈴木 敬尋		吉田 啓悟
	大場 律夫		宮川 忠蔵		桜井 真澄	38期生	田代健一郎	48期生	安達 莉穂
	川村喜八郎		安川 勇		中鉢 聡史		七海 英雄		沼田 寿明
	佐藤 郁雄	9期生	木川田明弘		藤井 明		井上 直樹		平間 拓也
	鈴木 哲明		紺野 榮司	20期生	安倍 典昭		佐藤 裕介		門崎 優子
	飛澤 章		佐々木達雄		狩野 仁宏	39期生	前田河 潤	49期生	阿部 恭平
	藤本 俊明	10期生	鈴木 伸彦		島貫 敏浩		齋藤 陽		近江 大輝
4期生	森 育夫		太田 義之		藤田 豊彦		佐伯 尚美		小原 隆嗣
	浅野 初朗		笠原 清	21期生	青山 佳夫		佐藤 孝平		坂本 賢
	小野寺 修		川島 修		遊佐 英一		佐藤 雄哉		寒河江 陽
	菊田 正典		菊地 徹	22期生	今野 栄治		杉原 永光		佐々木 優
	西條 正義		岸田 清実	23期生	山陰 義広		鈴木 龍也		佐藤 文洋
	桜井 博		豊島 篤志	24期生	小山 秀行		森 広志		佐藤 央一
	佐々木伸夫		我妻 博文		近藤 正義		山口 健児		酢谷 彪
	高橋 俊寿	11期生	鈴木 洋一		朴澤 光紀		渡邊 歩		関根 優
	玉田 俊明		早坂 幸治	25期生	木田 勝政	40期生	青木 純		高橋 遼
5期生	氏家 裕一		船水 孝彦		佐藤 俊一		小野由香里		千葉 広裕
	熊谷 義則		横田 利信		引地 裕一		鎌田 圭美		那須 玄
	櫻井伸比彦	12期生	内村 滋	26期生	奥山 祐輔	41期生	鈴木 秀輔		浜田 昌吾
	佐藤 重換		小野 広志		永野 英明		八島 光		播間 沙季
	佐藤 政廣		鹿野 秀一	28期生	森 裕		谷々 和幹		細川 優季
	武田 行雄		菊地 巖		川畑 仁	42期生	菅原 大富		李 成駿
	戸部 正		菊地 茂		佐々木仁也		本木 信行		我妻 孝則
	村田 忠		佐竹 忠仁		高橋 功充	43期生	吉田圭一郎		
	山田 清		富樫 悦夫	29期生	枅 宏之		木下 丈史		
6期生	岩本 政郁		渡邊 俊之		石川 英治		鈴木 威範		

平成23年度 彩翠会 収支決算書

【収入の部】

科目	予算額	決算額	増△減	備考
会費(一般会員)	630,000	753,000	123,000	卒業生会員(@3,000*251名分)
会費(準会員)	2,340,000	2,437,500	97,500	会費(3,600*677/300*1)
過年度分収入	1,500	0	△1,500	未収入回収
總會懇親会費	200,000	421,000	221,000	同窓生¥224,000/教育員¥72,000/ご祝儀¥125,000
東日本大震災義援金	500,000	613,000	113,000	237名 1口2,000~
雑収入	500,000	15,070,799	14,570,799	会報広告代@10,000×18名/国債売却金14,788,399/貯金利子¥1,340/国債利金¥102,400
繰越金	7,070,738	7,070,738	0	前年度繰越金
合計	11,242,238	26,366,037	15,123,799	

【支出の部】

科目	予算額	決算額	増△減	備考	
総務費	440,000	330,392	△109,608		
会議費	150,000	259,462	109,462	役員会・理事会補助(5回)¥184,462/第49期新役員食卓会¥75,000	
事務費	290,000	70,930	△219,070	通信費¥55,180、事務用品¥15,750	
事業費	9,733,376	6,791,500	△2,941,876		
事業活動費	2,900,000	2,700,940	△199,060		
内訳	会報等印刷	500,000	354,900	△145,100	第34号16,000部/総会案内状300枚/懇親会券700枚
	会報発送・送料	1,700,000	1,644,132	△55,868	14,600名分発送処理および郵送料他
	データ管理・入力	200,000	101,234	△98,766	(廣済堂)データ管理料¥52,500・ラベルリスト出力¥10,672・封筒代¥38,062
	總會懇親会費用	500,000	600,674	100,674	参加者から会費徴収¥421,000→不足分¥101,674を補助/総会・50周年記念2次会補助¥78,000
支部費	500,000	65,000	△435,000	関東支部長総会・創立50周年記念式典出席、交通費・宿泊費	
奨励費	1,000,000	261,280	△738,720		
内訳	入学・卒業記念品	500,000	181,280	△318,720	H23.4入学生校章¥75,210@230×327/H24.3卒業生ヘスポートタオル¥105,840
	インターハイ出場支援	500,000	80,000	△420,000	空手部¥30,000・レスリング部¥10,000・フェンシング¥10,000/レスリング海外遠征補助¥30,000
慶弔費	400,000	110,000	△290,000	祝・弔生花、香典、祝儀など6件	
基金積立金	2,000,000	0	△2,000,000	同窓会基金積み立て	
創立50周年寄付金	900,000	1,589,900	689,900	50周年協賛金¥500,000/校歌板¥1,089,900	
東日本大震災義援金	2,000,000	2,000,420	420		
雑費	33,376	63,960	30,584	産業振興会費¥5,000/会費・協賛金郵便払込手数料¥27,230/50周年広告協賛金¥31,500/総会¥230	
予備費	1,068,862	51,068	△1,017,794		
予備費	1,068,862	51,068	△1,017,794	退学者への返金¥900/事務局へ¥50,168	
合計	11,242,238	7,172,960	△4,069,278		

【収支合計の部】

収入	支出	次年度への繰越
26,366,037	7,172,960	19,193,077

【基金現在高】

1,647,995	内訳	1,000,000	SMBC日興証券(国債)
		647,995	岡三証券(預り金)

監査報告

平成24年度5月15日 東北工業大学高等学校において

1.現金出納帳 2.預金通帳 3.現金 4.領収書

等を精査した結果、記載の通り相違ないことをご報告致します。

平成24年5月15日

監事

佐々木 勝夫

監事

杉原 永光

監事

山村 真弓

個人情報の取り扱いのお願い

会長 今野 克徳

個人情報の取扱に関する件で何か申し出がある場合には、お手数ながら下記のフリーダイヤルにご連絡をいただくか、学校へ郵便にてお申し出下さい。

お電話による場合 株式会社廣済堂 教育ソリューション課(業務委託会社)
☎0120-058-651 お客様相談センター(受付時間/平日10:00~17:00 日・祝・土除く)

お手紙による場合 東北工業大学高等学校 同窓会事務局
〒982-0836 宮城県仙台市太白区八木山松波町5-1

編集後記

いつも快よく原稿をお寄せ下さる諸先生、同窓生の皆様のご協力で第36号も完成いたしました。厚くお礼申し上げます。ご意見、ご要望がありましたら編集委員までお聞かせ下さい。

編集委員 川畑、永野、千葉、笠原